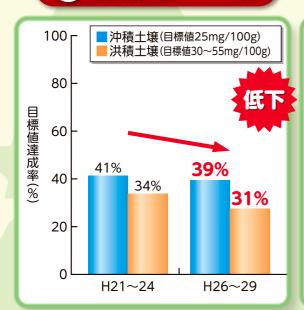
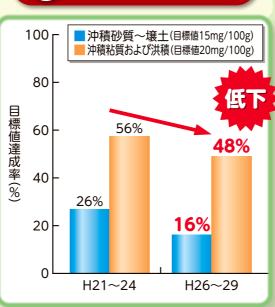
土は、高品質で美味しい農産物を安定して供給するうえで、必要不可欠です。

土づくり資材の散布

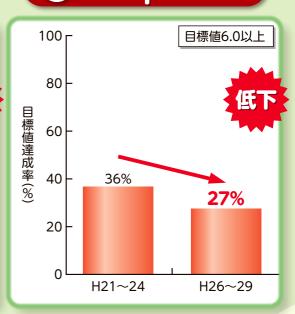
県内水田土壌の有効態ケイ酸、交換性カリ、pH目標値達成状況 (農業研究所 定点調査)

県内の大半の水田土壌で 目標値未達!!





pH



上等による収量・品質の向上や割籾発生軽減

写真:割籾

1穂籾数増加や登熟向上

大麦、大豆の生育安定化や病害、雑草の抑制等

※散布資材・散布量等については最寄りのJAにご相談ください。

を確実に施用しよう!

継続的な施用により、収量・品質を高位安定化!!

富山県JAグループ/富山県土づくり資材技術連絡協議会/富山県

10月1日は 土の日

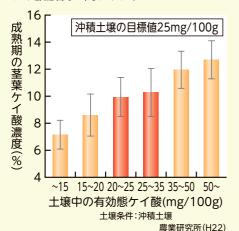
「秋の土づくり運動」 3月15日~11月15日



土づくり資材の散布によるケイ酸・カリの効果

有効態ケイ酸と成熟期の 水稲茎葉ケイ酸濃度の関係

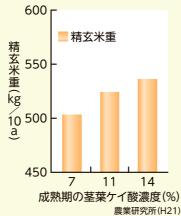
土壌中の有効態ケイ酸が増えると茎葉 ケイ酸濃度が高まります。



ケイ酸の効果

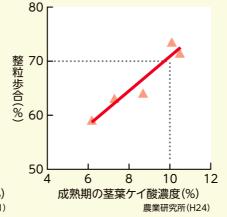
増収効果

水稲の茎葉ケイ酸濃度が高まると、 登熟が向上し、精玄米重が増加します。



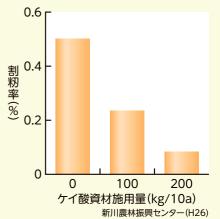
玄米品質の向上効果

水稲の茎葉ケイ酸濃度が高まると、基・背白粒が減少し、整粒歩合が高まります。



割籾発生軽減効果

ケイ酸資材を施用し、籾殻のケイ酸濃度が高まると、割籾率が低下します。



2 有機物の施用

堆肥の効果

堆肥の施用により土壌肥沃度は 向上し、土壌物理性の改善にも 繋がります。 堆肥1t/10aを4年間 連用すると、腐植含量 が1.2倍に増加します。



緑肥作物の効果

●土壌物理性の改善

緑肥をすき込むことで、腐食の増加や、団粒構造が発達し、土壌の通気性、透水性、 保水性の改善が期待できます。

2 あと作物の収量・品質の向上効果

- ・夏作物(クロタラリア等)あと水稲は、作付期間中の窒素供給量が高まり、登熟期の葉色が維持され、背白・基白粒が少なくなるなどの品質向上が期待できます。
- ヘアリーベッチあと大豆は、緑肥による土壌の化学性・物理性の改善により、生育量 及び収量が増加し、しわ粒の発生減少が期待できます。

3 あと作物の基肥減肥

緑肥により土壌の窒素肥沃度が向上し、あと作物の基肥の 減肥が可能になります。

斑点米カメムシ 対策にも効果的!

4 環境保全効果等

緑肥の作付けは、地力の減耗や雑草の繁茂を抑制するとともに、景観形成にも有効です。 特に、麦あとほ場にクロタラリア等の夏作緑肥の作付けを推奨しています。

◆播種とすき込みの目安

作物名	播種時期	播種量 (kg/10a)	すき込み時期の目安
ヘアリーベッチ 〔冬作物〕	水稲刈取後 ~10月中旬	3~5	あと作物(大豆)の 播種日の
ヘアリーベッチ+ライ麦 (冬作物)	水稲刈取後 ~10月中旬	ヘアリーベッチ:2 ライ麦:5	1~2週間前
クロタラリア (夏作物)	6月上旬 ~8月上旬	5~9	普通種:播種後50~70日 広葉種:播種後60~80日
ソルガム (夏作物)	6月上旬 ~8月上旬	4~6	出穂期前後 (播種後60~70日)
エンバク 〔冬作物〕	秋まき:9月下旬~10月中旬 春まき:3~5月	8~15	出穂後、早めにすき込む。あと作水稲では、 遅くとも代かきの2週間前までに実施

栽培ポイント

●排水対策の徹底 額縁排水溝を設置し排水対策を徹底

② 砕土率の確保 よく乾いたほ場条件で耕起し砕土率を向上



緑肥作付けあり

緑肥作付けなし

冬作緑肥あと大豆ほ場の降雨後の排水状況

※ヘアリーベッチとライ麦の混播作付区 前日の降雨量51.5mm

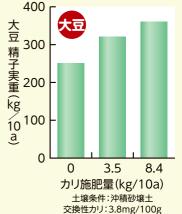
農業研究所(H26)

カリの効果

カリ不足のほ場でのカリ施用による増収効果

土壌中の交換性カリが目標値よりも低いほ場でカリを増施すると、 収量が増加します。





農業研究所(H26)

農業研究所(H23)

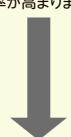
近年多発しているごま葉枯病

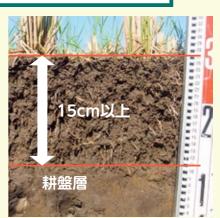


鉄・マンガンを含有する資材の散布をお勧めします

3 深耕の実施

深耕により作物の根が深く伸長することで、肥料の吸収効率が高まります。





安定した収量確保と 品質向上のため現状+3cmの深耕